

【取扱い厳重注意】

平成24年4月16日

聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員 岡田 幸大

平成24年4月16日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりであるので報告する。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

東京電力 [REDACTED]

2 聴取日時

平成24年4月16日午前10時00分頃から同日午前10時30分頃まで

3 聴取場所

事務局聴聞室

4 聴取者

岡田 幸大 参事官補佐

5 ICレコーダーによる録音の有無等

あり

なし

第2 聴取内容

別紙のとおり

福島第一原発へのAPDの支援について

第3 特記事項

以上

【取扱い厳重注意】

別紙

1. 被聴取者について

■ 事故前は、柏崎刈羽原発（以下「KK」という。）■ を担当していた。事故後に災害対策本部が立ち上がると、■ となった。■ ■ である。

2. 福島第一原発への APD の支援について

福島第一原発（以下「1F」という。）に行っていた■ から、何度か電話を受けており、保安装備品が不足しているという話を聞いていた。そこで、KK から何かできることはないかと考え、APD 等を支援として送ることを■ に提案したという記憶である。本店から要請されたものではない。

3月12日にヘリで送った APD については、自分が部下に指示したのかどうかはよく覚えていない。

同じく3月12日にトラックで送った APD については、電気機械グループが1Fに送るトラックに空きがあるということを知り、保安用品も載せてもらうようお願いをした記憶がある。当時、福島第二原発（以下「2F」という。）はもう大丈夫だと思っており、当然1Fに行くものだと思っていた。トラックが1Fに行くとは確実に確認していないが、とにかく福島に送れば、誰かが受け取って振り分けてくれると考えていた。資材に1F用であることを明示するようにも指示しなかったと思う。また、APD を実際に集めてくれた担当のレベルで1Fと連絡を取り合ってくれていると考えており、私から1Fに連絡は行っていない。今から考えれば、どこに向かうトラックなのか確認してから送るべきであったし、受け取る側とも何を送ったか、いつ送ったかを連絡しておくべきだったと思う。

3月17日に本店に異動しているため、その後、2Fで捜索を行ったという話は、だいぶ後になってから聞いた。